

『キリストは私たちに必要なすべてのもの』

聖書箇所:コロサイ人への手紙2章6~15節 新改訳

⁶ So then, just as you received Christ Jesus as Lord, continue to live your lives in him, ⁷ rooted and built up in him, strengthened in the faith as you were taught, and overflowing with thankfulness.

⁸ See to it that no one takes you captive through hollow and deceptive philosophy, which depends on human tradition and the elemental spiritual forces of this world rather than on Christ.

⁹ For in Christ all the fullness of the Deity lives in bodily form, ¹⁰ and in Christ you have been brought to fullness. He is the head over every power and authority. ¹¹ In him you were also circumcised with a circumcision not performed by human hands. Your whole self, ruled by the flesh, was put off when you were circumcised by Christ, ¹² having been buried with him in baptism, in which you were also raised with him through your faith in the working of God, who raised him from the dead.

¹³ When you were dead in your sins and in the uncircumcision of your flesh, God made you alive with Christ. He forgave us all our sins, ¹⁴ having canceled the charge of our legal indebtedness, which stood against us and condemned us; he has taken it away, nailing it to the cross. ¹⁵ And having disarmed the powers and authorities, he made a public spectacle of them, triumphing over them by the cross.

6 あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。

7 キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。

8 あのむなし、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。それは人の言い伝えによるもの、この世の幼稚な教えによるものであって、キリストによるものではありません。

9 キリストのうちこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。

10 そしてあなたがたは、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。

11 キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨て、キリストの割礼を受けたのです。

12 あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。

13 あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、

14 いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。

15 神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。

Introduction

Picture this: A couple is walking down the street holding hands, but there's something wrong. The man is looking back at another woman, and he is in big trouble. He's been caught looking at someone else rather than the one he's with!

皆さん、次のような光景を思い浮かべてみてください。あるカップルが手をつないで通りを歩いていますが、何かがおかしいのです。男性が他の女性ばかり振り返って見ているのです。これは大問題ですよ

ね。彼は、一緒にいる自分の恋人の女性ではなく、他の女性ばかり見ていたのです。そして、そのことが彼女にバレてしまいました。

Here is a big problem: Not being contented with what we have, we are tempted to look away from it and long for something else that may not even be as good. Rather than enjoying what we already have, our eyes drift to cheap substitutes, and we end up losing the very good thing that we have.

この話は、私たちは今あるものに満足せず、そこから目をそらし、もっと良いものに憧れ、誘惑にかられるという傾向にあるという教訓を教えてください。今あるものを楽しむことができず、つい、安い代用品に目が行ってしまい、結局は今持っている、とても価値のあるものを失ってしまう羽目に陥ってしまうとすることを教えてください。

That's not just a problem in life. That's can also be a problem in the church.

そのようなことは、人生においてだけの問題ではありません。それは教会でも起こる問題でもあるのです。

You might remember reading the grand descriptions of our Lord Jesus Christ in Colossians 1:15~23. There we can marvel at Jesus' supremacy, his handiwork, and his salvation.

コロサイ人への手紙1章15節から23節に、私たちの主イエス・キリストについての壮大な描写がされているのを覚えているでしょうか？そこに書かれている、イエスの至高性、御業、そして救いに、私たちは驚嘆させられます。

That passage is one of the most amazing verses in the Bible about the Lord Jesus. If you like *mikan oranges*, get them from Wakayama. If you like autumn leaves, go to Minoh Waterfall. If you want to see a mountain, go to Mt. Fuji. If you want to see Jesus, meditate on Colossians 1:15~23. When you get Jesus right, so many other things fall into place.

そこに書かれている一節は主イエスについて書かれていますが、聖書の中でも、素晴らしい描写がされている一節だと思っています。それは例えば、みかんが好きなら、和歌山にみかんを食べに行きなさい。紅葉が好きなら、箕面の滝を見に行きなさい。山が見たければ、富士山に行きなさい。イエス様に会いたいなら、コロサイ人への手紙1章15~23節を読んで黙想しなさい。と、言った具合に、素晴らしい描写がなされています。イエス様を正しく理解すると、他のたくさんのもとも、うまくいくようになるでしょう。

Now, let's face up with the problem. We're like the man I told you about earlier, always looking away from Jesus to other things. What's yours? Do you look to...?

ここでまた、先ほどのカップルの問題に戻ってみましょう。私たちは、先ほどお話した男性のように、いつもイエス様から目をそらし、他のことに目を向けているのです。では、あなたはごどうですか？あなたはなに目を向けていますか？

- A charismatic personality?
- Some radical new teaching?
- The latest gizmos and trends?
- Self-help and other techniques?
- A hobby or activity that starts to matter more than Jesus?

- カリスマ的な人格？
- 過激な新しい教え？
- 流行りのものやトレンド？
- 自己啓発や精神の向上？
- イエス様よりも大切に感じ始めた趣味や活動？

So allow me to tell you what we are up to today. It's so simple, and yet so necessary for all of us. Here's the first one.

では、イエス様から目を逸らさないために、私たちは今日(こんにち)何をすれば良いのかと、ここで、お話しさせていただきます。それは、とてもシンプルでありながら、私たち全員にとって必要なことなのです。

私たちがイエス様から目を逸らさないために、最初にすべきことは、『主イエス・キリストへの信仰を保つ』と言うことです。

I. Keep your faith on the Lord Jesus Christ - verses 6~7

I. 主イエス・キリストへの信仰を保ちなさい - 6~7節

⁶ So then, just as you received Christ Jesus as Lord, **continue to live your lives in him**, ⁷ rooted and built up in him, strengthened in the faith as you were taught, and overflowing with thankfulness.

6 あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。7 キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。Here's what Paul is saying: You don't start with Jesus and then move on to something else.

There's no graduating from Jesus to something or someone else. You start by receiving Christ Jesus the Lord. For the Colossian believers, they heard the good news from Epaphras about who Jesus is and what He had done. They'd heard the message.

ここでパウロは、『それは、イエス様から始まって、他の何かに移行していくことではない。』と言っています。イエスから何かへ移行する、あるいはイエス様から卒業して、他の誰かに移っていくということではないのです。まず、主キリスト・イエスを受け入れることが始まりなのです。コロサイの信者は、エパfrasから、イエスが誰で、何をされたかという良い知らせを聞きました。彼らは次のようなメッセージを聞いていたのです。コロサイ人への手紙1章21、22節をお読みします。

Colossians 1:21~22 - ²¹ Once you were alienated from God and were enemies in your minds because of your evil behavior. ²² But now he has reconciled you by Christ's physical body through death to present you holy in his sight, without blemish and free from accusation—

21 あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行いの中にあつたのですが、22 今は神は、御子の肉のからだにおいて、しかもその死によって、あなたがたをご自分と和解させていただきました。それはあなたがたを、聖く、傷なく、非難されるところのない者として御前に立たせてくださるためでした。

And it changed their lives.

そして、その知らせは、コロサイの人々の人生を変えたのでした。

That's what Jesus does to us. When we get to know the real Jesus, **it** changes everything. **It** reorients our life. We see Him in His beauty, and then we realize what He did for us — that although He's holy, He somehow loves sinners and has done everything necessary for us to be made right with God.

それが、イエス様が私たちにしてくださることです。私たちがイエス様を本当に知るとき、すべてが変わります。イエス様を知ることは、私たちの人生を方向転換させてくれます。イエス様は、聖なる方でありながら、罪人を愛し、私たちが神と正しい関係を結べるように必要なことをすべて行ってくださったのです。

That's what happened to the Colossians. It's what has happened to many of us. I hope it's also what's happened to you as well. Our greatest need is to believe and receive Christ Jesus the Lord. Humble yourself and confess your sins before Him. Ask for His forgiveness. Trust Him. //If you've never done this before, we'd love to introduce you to Jesus. Don't hesitate to talk to anyone of us.

それが、コロサイの信徒に起こったことなのです。それはまた、私たちの多くに起こったことでもあるのです。私は、同じことがあなたにも起こっていることを願います。私たちに最も必要なことは、私たちが主キリスト・イエスを信じ、受け入れることなのです。自らへり下り、主の前で自分の罪を告白してください。主の赦しを請うのです。主を信じてください。一度もそのようにしたことがない方は、ぜひ、イエス様を紹介させていただきます。遠慮なく、私たちの誰にでも声をかけてください。

Alright, so that's how we start. What happens next? Paul tells us: **“as you received Christ Jesus as Lord, continue to live your lives in him ...”** (v.6).

さて、私たちは、イエス様との歩みのために、このように一步を踏み出すことができました。では、次はどうなるのでしょうか？パウロは6節で、『6 あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。(6節)』と、言っています。

C.H. Spurgeon: *“Persevere in the same way in which you have begun, and, as at the first Christ Jesus was the source of your life, the principle of your action, and the joy of your spirit, so let him be the same even till life’s end, the same when you walk through the valley of the shadow of death, and enter into the joy and the rest which remain for the people of God.”*

イギリスの著名なバプテスト派の牧師であるC.H.ス波尔ジョンは、次のように言っています。「始めた時と同じであり続けなさい。初めにキリスト・イエスが あなたの命の源であり、あなたの行動の原理であり、あなたの心の喜びであったように、あなたの人生の終わりまで、神が同じでありますように。私たちが死の陰の谷を歩んでいる時も、喜びと安息の時も、神の民である私たちに、神が変わらず同じであり続けますように。」

What’s the result of this constant walking in Jesus? You’ll be **“rooted and built up in him, strengthened in the faith as you were taught, and overflowing with thankfulness”** (2:7).

Notice the passive voice in this verse. As you walk in Christ, God does all of this in you. Our job is to walk in Jesus; God’s job is to give us roots and strengthen us and make us thankful.

このように、常にイエス様と共に歩むと、どんな結果が得られるのでしょうか。7節に書かれているように、あなたは、「7 キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝する(2:7)」ようになるのです。また、この節では、受動態を使って書かれていることに注目してください。あなたがキリストとともに歩めば、あなたのうちに、これらのことをすべて神が行ってくださるのです。私たちの仕事はイエスと共に歩むことであり、神の仕事は私たちに根を張らせ、強め、感謝させることなのです。

Yes, we’ll spend the rest of our lives knowing who He is and what He’s done for us. Notice these truths in **verses 9~15**:

そうです。私たちは、主が誰であるか、そして主が私たちのために何をしてくださったかを知って、残りの人生を過ごすこととなります。9節から15節にある次ような真理に注目してください。

- **He is God in human form (v.9).** **“For in Christ all the fullness of the Deity lives in bodily form...”** When Jesus lived in Israel, eating, talking and making friends, it was God himself — not a watered-down version of God, but God in His fullness. Jesus is God himself in the flesh.
- **キリスト**は人間の形をした神である(9節)。『神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。』イエスがイスラエルに住み、食べ、話し、友人と交わった時、それは神そのものであり、水で薄められたような神ではなく、完全な神であったのです。イエスは肉体を持った神そのものでした。
- **For Christians, our whole life is joined with His (vv.10~15).** It says, **“In Christ you have been...”** When we trust Jesus, we’re filled with the One who contains all fullness. When He died, we died. When He rose from the dead, we rose from the dead. When He triumphed over the evil powers, we triumphed over the evil powers.
- -クリスチャンにとって、私たちの生涯はイエスと結びついている(10~15節)。「キリストにあって、あなたがたは...」と書かれています。イエス様は全てを満たしてくれるお方なので、私たちがイエス様を信頼すれば私たちも満たされるのです。イエス様が死なれた時、私たちも死んだのです。イエス様が死からよみがえられた時、私たちも死からよみがえりました。イエス様が悪の力に勝利された時、私たちも悪の力に勝利したのです。

Someone said, “Most books should be articles. Most articles should be tweets. Most tweets shouldn’t be posted.” In other words, a lot of what we read is junk. There’s nothing to it. Verses 9 to 15 are not like that. There’s no spoilage. There’s enough spiritual nutrition in these verses to feed a hungry soul. There’s so much more to learn and admire about Jesus. You never need to move on from Him because there’s no one and nothing better than Him.

ある人が、「大抵の本は読む価値もないので、短く要約されるべきで、大抵の記事はツイートでの短い投稿で十分である、そして、ほとんどのツイートは投稿される値打ちもない。」と、言いました。つまり、私たちが読むものの多くは、中身の何もないガラクタであると言うことを言っているのです。しかし9節から15節はそうではありません。もちろんガラクタな内容でもありませんし、この節には、飢えた魂を養うに十分な霊的な要素がたくさん書かれています。イエス様について学ぶべきこと、賞賛すべきことは、まだまだたくさんあるのです。イエス様に勝る人はいませんし、イエス様に勝るものは何もありません。ですから、私たちはイエス様から離れる必要はないのです。

So this is the entire Christian life: **Keeping our faith on Jesus**. Keep adoring Him. Make your life a relentless pursuit of Him.

つまり、これがクリスチャンライフの全てなのです。イエス様への信仰を持ち続けること。イエス様を慕い続けることです。あなたの全人生をかけて、執拗なまでに主を追い求めていきましょう。

Dane Ortlund wrote: “Make your growth journey a journey into Christ himself. Explore uncharted regions of who he is. Resist the tendency we all have to whittle him down to our preconceived expectation of what he must be like. Let him surprise you. Let his fullness arrest you and buoy you along. Determine today, before God, through the Bible and good books explaining it, that you will spend the rest of your life wading into the unsearchable riches of the real Christ. Let him, in all his endless fullness, love you into growth.”

アメリカのイリノイ州の牧師であるデイン・オルツルンは、次のように言っています。「あなたの成長の旅を、キリスト自身を求める旅にしてください。キリストが誰であるかという未知の問いかけを探検する旅にしてください。私たちは皆、キリストがどのような方であるべきかという先入観を持ってしまい、キリストを敢えて小さく見てしまう傾向にあります。キリストはあなたをいつも驚かせてくれますし、キリストの完全さにあなたは魅了され、勇気づけられることでしょう。ですから今日、神の前で、聖書とそれを解説してくれる良書を通して、あなたが残りの人生を、本物のキリストの豊かさを探求することに費やすと決意してください。神があなたを愛し、その限りない充実の中で、あなたを成長させてくれますように。」

Paul makes a second assertion:

次に、コロサイ人への手紙2章でパウロは2つ目の主張をしています。私たちがイエス様から目を逸らさないために、すべきことは、『あなたを神から引き離すかもしれないものを見定める』ことだと言っています。

II. Identify those things that might draw you away from Him – verse 8ff

II. あなたを神から引き離すかもしれないものを見定める - 8節ff

⁸ See to it that no one takes you **captive** through hollow and deceptive philosophy, which depends on human tradition and the elemental spiritual forces of this world rather than on Christ.

8 あのむなし、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。それは人の言い伝えによるもの、この世の幼稚な教えによるものであって、キリストによるものではありません。

In verse 8, Paul gets specific about a particular threat faced by the church in Colossae. They were tempted to get sidetracked because of a dangerous belief system that was influenced by both Judaism and Greek Gnosticism. There’s a doctrine circulating that if the Colossians wanted to really experience spiritual blessings, they had to syncretize Jewish practices like circumcision and dietary laws with the veneration of angels and some mystical experiences, with a mix of Jesus on the side. These influences were taking them “**captive**” — literally, kidnapping, robbing and plundering them — and drawing them away from Jesus.

8節で、パウロはコロサイの教会が直面していた、ある脅威について具体的に述べています。それは、ユダヤ教とギリシャのグノーシス主義の両方に影響を受けた危険な信仰思想に、コロサイ人たちが誘惑されていたからです。当時は、コロサイの人々が霊的な祝福を本当に経験したいと思うあまりに、割

礼や食事法のようなユダヤ教の習慣と、天使崇拜や神秘的な体験を融合させ、その傍らでイエス様も取り入れなければならないという教義が流行り出していました。これらの思想は彼らを『捕虜（とりこ）』にし、文字通り、誘拐、強奪、略奪し、コロサイの人々をイエスから遠ざけていたのです。

I understand that it's unfamiliar to us because we don't face that set of beliefs. Probably nobody here is going to be tempted to lose their focus on Jesus because of what the Colossians were tempted to believe.

現在の私たちはその一連の信念や思想に直面していないので、このような考えに馴染みがないことは理解しています。当時のコロサイの信徒たちが信じていたような思想に誘惑されて、イエスに集中できなくなるような人は、おそらくここにはいないでしょう。

But we do face our own temptations. There are things in every age that threaten to **“take us captive”**. Just the same, they're deceptive. They're demonic. They're not according to Christ. しかし、私たちは自分自身が産み出す誘惑に直面することはあります。どの時代にも、私たちを「虜にする」ものや、脅かすものがあるのです。脅かすものであると同時に、それらは欺瞞的で、悪魔のようなものなのです。それらは、キリストに従ったものではありません。

Paul writes to them and basically says, *“Look, I know these views look really appealing to you. You want to buy into this because it looks so good. But these ideas aren't from Jesus. They're from humans. Even worse, they're demonic. They won't lead you to freedom. They'll actually prey on you, lead you into captivity and plunder your freedom in Jesus.”*

パウロはコロサイの人々にこう書きました。「いいですか、あなた方にとって、これらの意見がとても魅力的に見えることは知っています。あなたがたは、これらの考え方がとても魅力的に見えるので、それを受け入れたいのでしょう。しかし、これらの考えはイエスのものではありません。それは人間から来たものなのです。さらに悪いことに、それらは悪魔的であり、あなたを自由に導くものではありません。それらの考えは、実はあなたを捕まえ、あなたを捕虜として導き、イエス様があなたに与えてくれた自由を略奪してしまうのです。」

Jesus is far way better. Jesus is not just how you start the Christian life. He is how you continue the Christian life and how you finish the Christian life. He is **“the pioneer and perfecter of our faith”** (Hebrews 12:2). You don't move on from Him. You don't need anything more than Him, because there's no one and nothing better than Him.

それに比べて、イエス様ははるかに優れています。イエス様は、あなたがクリスチャン生活を始めるための『術(すべ)』というだけではありません。イエス様は、あなたがクリスチャン生活を続けるための術(すべ)であり、またクリスチャン生活を終えるための術(すべ)なのです。ヘブル書12章2節に書かれているように、イエス様は「信仰の導き手であり、またその完成者である」のです。あなたはイエス様から離れることはできませんし、イエス様以上のものは必要ありません。なぜなら、イエス様以上の人はいないし、イエス様以上のものはないからです。

Brethren, be on guard against anything that causes you to look away from Jesus. **Keep your focus on Jesus, because he's everything you need.**

兄弟姉妹の皆さん。イエス様から目をそらすようなことがないように用心してください。イエス様に常に集中していて下さい。それが、あなたが必要とするすべてなのですから。

Conclusion/Application

The police were looking for a senior couple who have been shopping for jewelries. After the couple came in three (3) times to look at diamond earrings, a staff became suspicious. She examined the diamonds and discovered that this couple had substituted to cubic zirconia (a lab-grown gemstone and diamond look-alike). The couple took diamonds worth ¥1.6M (about US\$11,000) and left the zirconia behind, worth ¥1,500 (about \$10).

ここで、あるお話をしましょう。一人の警察官が、とある宝石店に宝石を買いに来た老夫婦を探していました。この夫婦は以前3回ほどその店に来店しており、二人はダイヤモンドのイヤリングを見ていたのですが、店員が二人を不審に思い出したのです。そして、その老夫婦が手に取っていたダイヤモンドを後で調べたところ、この夫婦が店のダイヤモンドを、ダイヤモンドに似ている人工宝石のキュービックジルコニアにすり替えていたことがわかったのです。この老夫婦は、まんまと約160万円(約11,000米ドル)の

本物のダイヤモンドを持ち出し、1,500円(約10米ドル)のジルコニアとすり替え、置き去ることに成功したのです。

A jeweler in town says unless you're an expert, telling the difference is not always easy. *"Especially when you're in the middle of a good sale and you're excited about making that sale and this happens. And sometimes it's your best customers that might do that to you and you just have to watch yourself and be careful."*

街の宝石商によると、よっぽどの専門家でもない限り、本物のダイヤとジルコニアの違いを見分けるのは必ずしも容易ではないそうです。「特に、ダイヤの売れ行きが良く、店が繁盛している時に限ってこのようなことが起こります。そして時に、良き常連の顧客がそのようなごまかしを行う可能性があるので、店員は自分でよく監視し、警戒する必要があります。」と、警官は言いました。

What is the moral of the story?

さて、このお話しの教訓は一体、何だと思えますか？

- A. That you should watch out for suspicious-looking elderly couples?
- B. That if you've just bought expensive jewelry, you could have saved yourself a lot of money and got something that looks just as nice but much cheaper? Or,
- C. That the real moral of the story is about **substitutes**. It is hard for even a trained jeweler to tell a real diamond from a good fake.

- A. 不審な老夫婦に気をつけろということ。
- B. 高価な宝石を買うなら、同じように素敵でもっと安いものを買えばいいのと思うこと。
- C. この話の本当の教訓は、偽物である代用品についてであること。訓練された宝石商でさえ、本物のダイヤモンドと優れた偽物を見分けるのは難しいということ。

Let me double down on this. What would cause you to substitute something else for Jesus? What would cause you to think that He is not enough, that you need something other than Jesus for the full spiritual treatment?

次のことをもう一度確認させてください。人々が、イエス様の代わりに何か他のものを代用しようとする原因は何でしょうか？人々が、イエス様だけでは十分ではない、完全な霊的な癒しを受けるにはイエス様以外のものが必要だと考える原因は何だと思えますか？

Whatever that is presents a spiritual danger to you. Anything that causes you to look away from Jesus or to add anything to Jesus is hollow and deceitful.

その代用品が何であれ、あなたにとって霊的な危険をもたらすものです。あなたをイエス様から遠ざけたり、イエス様に何かを付け加えたりするものはすべて、空虚で欺瞞に満ちたものなのです。

Make him and nothing else the theme of your life. Get to know him in all of his glory. Never move on to anything else. If you look to Him, everything else is footnotes. All else will fall into place. Peel back every layer of distraction, look to Christ and His overflowing heart.

あなたの人生の中心となるものを、イエス様以外のものではなく、イエス様にしてください。イエス様の栄光のすべてを知ってください。そして、他のものには決して気移りしないでください。もしあなたがイエス様を見つめているなら、他のものはすべてとるに足らない小さなものとなり、全てのことは適所に収まることでしょう。あなたの注意を逸らすものをすべて取り除き、キリストとその溢れる心に、どうぞ目を向けてください。